

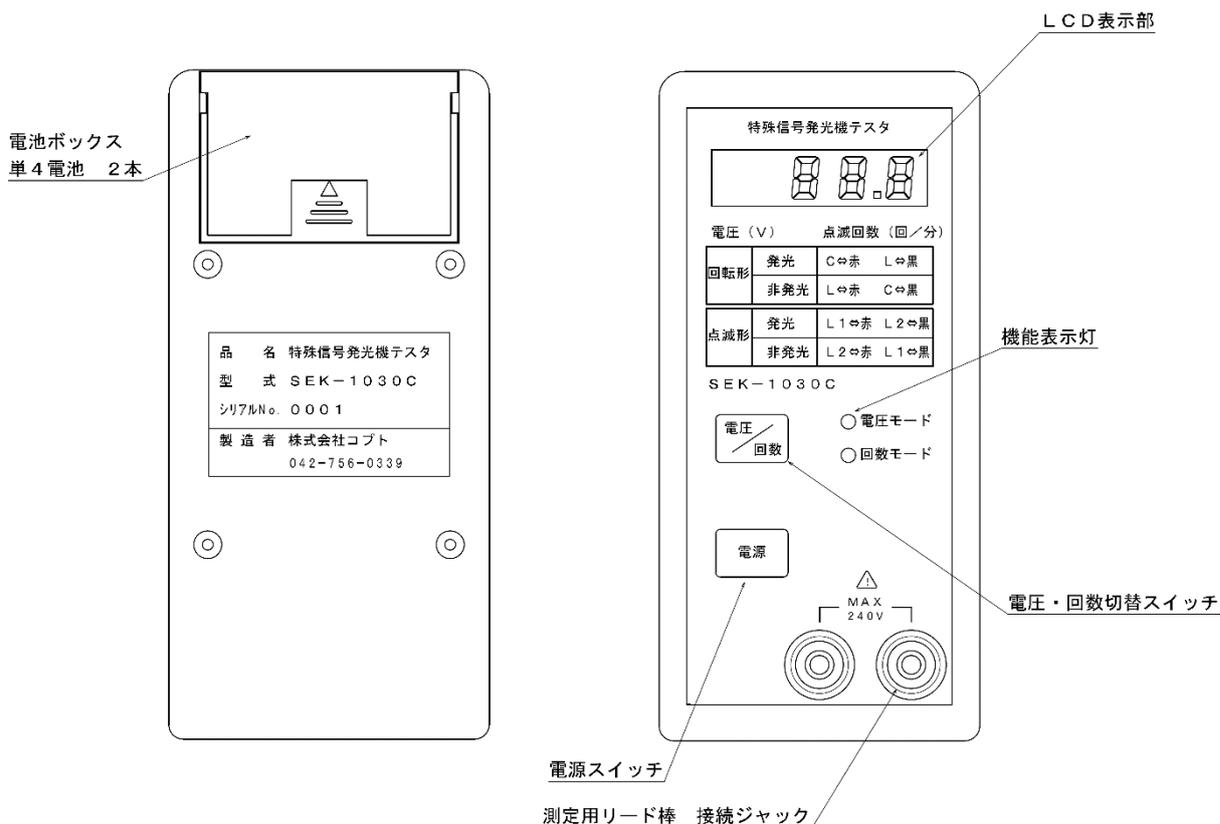
特殊信号発光機テスタ SEK-1030C

取扱説明書

【注意】

- ① 鉄道用特殊信号発光機の回路電圧および1分間の点滅回数を測定する専用のテスタです。他の機器の電圧測定等には使用できません。
- ① テスタに印加できる最大電圧はAC240Vです。この電圧を超えると内部の電気回路が破損したり、感電などの危険があるため十分注意願います。
- ② 本体は防水構造ではありません。雨中で使用する際は、付属の防滴ビニールカバーを装着願います。
- ③ 回転形と点滅形では測定方法が違います。(3ページ、4ページを参照)
- ④ 本説明書に記載している信号電圧値、周波数等は参考値です。使用する際は特殊信号発光機および制御部の仕様書に基づいて測定するよう、お願いいたします。
- ⑤ 本取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

1. 各部の名称



2. 使用方法

- ① 使用する前に本体背面の電池部に電池が正しく入っていることを確認します。
- ② 測定用リード棒（付属品）をテストに接続して電源スイッチを押下します。
- ③ 押下中に「-8 8.8」が表示します。
- ④ 電源スイッチを離すと「0.0」が表示し、電圧が測定できます。電圧は波高値を示します。（注1）
- ⑤ 「電圧／回数」スイッチを押下すると「0 0」が表示し、1分間あたりの点滅回数が測定できます。
- ⑤ 再度電源スイッチを押下するとテストの電源が切れます。または約30分で自動的に切れます。
電池が消耗しますと表示が点滅しますので、電池を交換してください。

3. 電圧計測部の仕様

- ・測定電圧範囲（電圧波高値）10.5V～50V
- ・誤差±1%（フルスケール時）±2det（0.1V分解能）。
- ・測定レンジの切替えはできません。

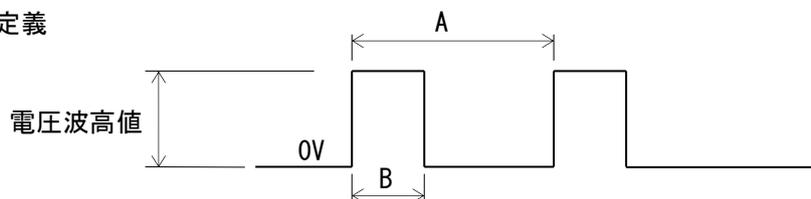
4. 点滅回数計測部の仕様

- ・計測点滅回数 40回/1分間～900回/1分間
- ・誤差±5%
 - ・一般的な点滅形特殊信号発光機 450～550回/1分間
 - ・一般的な回転形特殊信号発光機 約60回/1分間

5. 一般仕様

- ・使用温度範囲は0℃～40℃ 湿度は85%RH以下で結露しないこと。
- ・表示は小数点以下1桁を含む3桁表示。
- ・電源はアルカリ単4電池2本で、常温下での連続使用時間は8時間以上。
- ・電池はアルカリ乾電池、マンガン乾電池、充電型ニッケル水素電池（充電機能はありません）。
- ・30分間で自動電源断機能付。
- ・外形寸法 67mm(W)×30mm(D)×140mm(H) 200g以下（電池込み）
- ・最大AC240Vに触れても破損しません。
- ・測定用リード棒は一般的なテストのリード棒が使用できます。（付属品）

（注1）波高値の定義



6. 製造販売 株式会社コプト

神奈川県相模原市中央区矢部 1-23-17-201 TEL : 042-756-0339

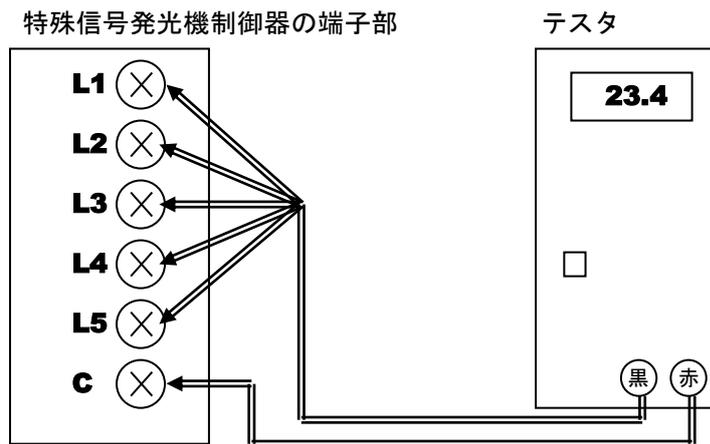
7. 保障規定 保障期間1年（通常の使用状況で、保障期間中に故障した場合は無償修理いたします。）

8. 付属品 測定用リード棒（赤、黒1組） 防滴ビニールカバー 取扱説明書 単4電池2本

9. 接続方法

(1) 回転形特殊信号発光機の場合

【発光時】



特殊信号発光機を発光状態にする。

テスタの測定用リード棒（赤）を制御器の端子Cに固定する。

テスタの測定用リード棒（黒）を制御器の端子L1からL5まで、順次移動させて回路電圧を測定する。

【注意】

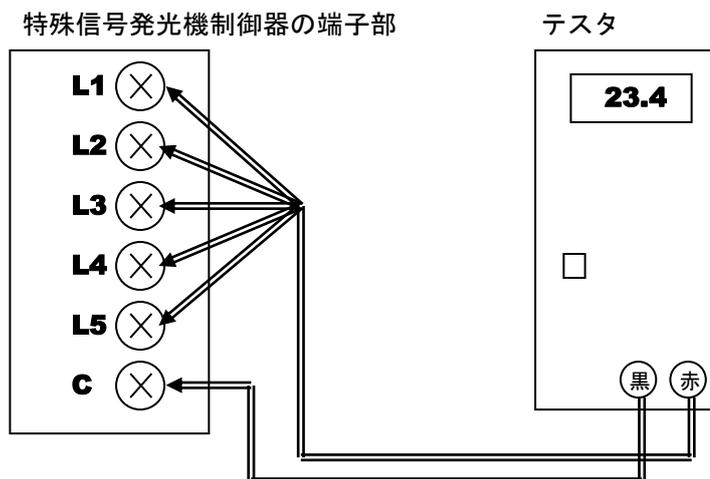
制御器の端子以外には触れないようにしてください。

測定する際、発光部の配線ははずす必要はありません。また発光部に影響は与えません。

極性を間違えてもテスタは破損しませんが測定はできません。

一般的に特殊信号発光機の発光時回路電圧は20V～30V程度です。

【非発光時】

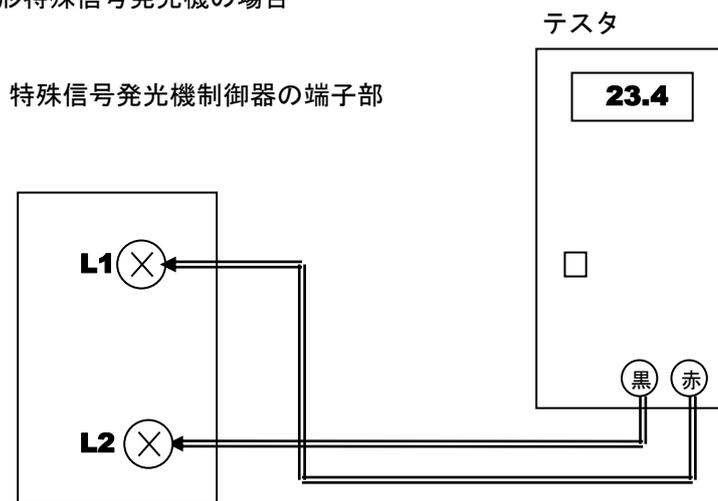


特殊信号発光機を非発光状態にする。テスタの測定用リード棒を発光時と逆に接続する。

制御器の端子L1からL5まで、順次移動させて回路電圧を測定する。

(2) 点滅形特殊信号発光機の場合

【発光時】

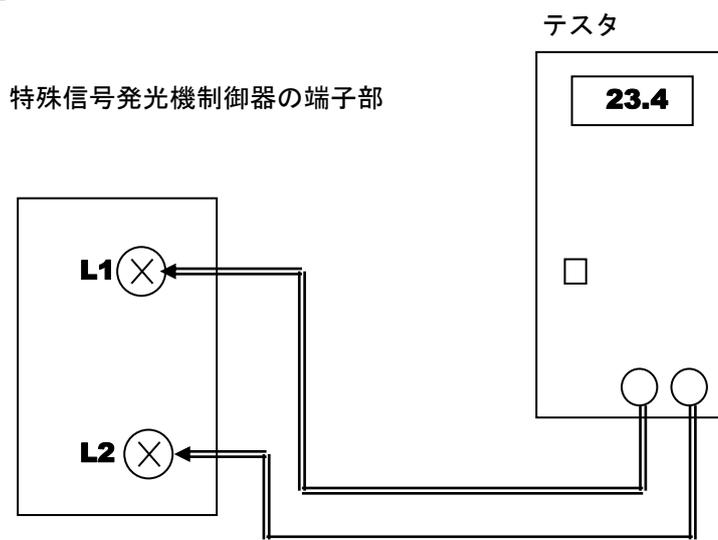


特殊信号発光機を発光状態にする。

テストの測定用リード棒（赤）を制御器の端子 L1 に接続する。

テストの測定用リード棒（黒）を制御器の端子 L2 に接続し、回路電圧を測定する。

【非発光時】



特殊信号発光機を非発光状態にする。テストの測定用リード棒を発光時と逆に接続する。

制御器によっては、非発光時の電圧が測れない場合があります。